

## 感染拡大予防ガイドライン(公文協)公表

公益社団法人 全国公立文化施設協会(全国公文協)は、5月14日新型コロナウイルスの感染拡大で休業中の施設再開に向けてガイドラインを公表しました。

全国公文協とは、全国の国公立の劇場や音楽堂など約1,300施設で構成される団体。各施設の再開について「感染予防には最大限の対策実施が前提条件として不可欠」とし、各施設の違いを考慮した上で参考にしてほしいとしています。内容は多岐にわたっていますが、気になるところを以下に確認してみます。詳しいことは末尾のサイトからガイドライン全文をご覧ください。

このガイドラインは、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」を踏まえ、専門家会議のガイドライン作成要請に応じて作られたものです。

### □基本的な考え方

劇場等ではこれまでクラスターは発生していないが、三密を排除し、来場者は一方向を向き対面を避け、会話等が原則想定されないことも踏まえて具体的な対策を講じること。

### □リスク評価

接触感染(①)と飛沫感染(②)、大規模な人数や県境をまたぐ移動などがある場合の集客施設としてのリスク(③)、および地域の感染状況のリスク(④)を評価し、「実施の可否について劇場側と補償等も含めて協議し判断する」こと。

例えば、接触感染(①)については、ドアノブ、テーブル、椅子の背もたれ、電気のスイッチ、電話、キーボード、レジ、蛇口、手すり、エレベーターのボタン、券売機などに注意。その他、会場内のあらゆる場所についてリスク評価せよと、いずれにせよ気の遠くなるような作業が求められています。



劇場従事者に関しては、必要最低限の人数とし、適切なローテーションを考慮し、マスク着用や手指消毒、ユニフォームや衣服のこまめな洗濯、検温の徹底等これまで自粛要請の中でいわれてきた事柄すべてが求められ、これは来場者へも同

様に周知徹底が必要とされています。

### □公演前の対策

主催者は、三密回避のための入場制限等を行うこと。公演ごとに、チケットシステム等で事前に把握できている範囲で、氏名や連絡先を把握すること。

### □公演当日の対策

予防策の来場者への周知。パンフレット・チラシ等の手渡しを避け、プレゼント、差し入れ等も控えること。

### □会場内での対策

消毒や換気の徹底、マスク着用、会話抑制の予防措置に努める。座席は原則指定席とし、座席配置にも考慮すること。座席のひじ掛けは左右いずれかに統一、休憩時間にトイレが混雑しないよう時間を設定すること。



### □公演関係者の感染防止策

基本的に劇場側に求められることがそのまま要請される。

### □感染疑いが発生した場合の対応策

速やかに別室へ隔離、対応スタッフはマスクや手袋着用。医療機関・保健所へ連絡し指示を受ける。

### □物販の対応

現金の扱いを減らすためオンラインやキャッシュレス決済が望ましい。

### □来場者の退場時の対策

余裕を持った退場時間を設定、券種やゾーンごとに時間をつける。出待ちや面会は控える。



公文協のガイドラインを遵守するのに果たしてどれほどの労力が必要になるのでしょうか、がんじがらめで気持ちが萎えそうになりますが、前向きに捉えるしかありません。なんとか工夫して参りましょう。

(加藤良一)